

2 会議及び各種委員会等活動

(1) 公立大学協会図書館協議会 平成28年度役員会（名古屋市立大学）

ア 第1回拡大役員会

日 時： 平成28年6月10日（金） 10時30分～12時

場 所： アイリス愛知 2階中会議室

出席者： 19大学 29名

欠席者： 5大学

議事

<報告事項>

- (1) 平成27年度事業報告
- (2) HP委員会報告
- (3) 地区活動報告
- (4) 関係委員会等報告
- (5) その他

<協議事項>

- (1) 役員の選出について
- (2) 関係委員会委員等の推薦について
- (3) 平成27年度決算報告及び監査報告
- (4) 平成28年度事業計画（案）について
- (5) 平成28年度予算（案）について
- (6) 大学図書館職員長期研修及び短期研修への派遣について
- (7) 公立大学協会図書館協議会表彰規程による表彰について
- (8) 公立大学協会図書館協議会規程類の修正等について
- (9) 平成29年度会長館業務について
- (10) 会長館業務の見直しについて
- (11) 公立大学協会図書館協議会入会大学について
- (12) 各委員のローテーションについて
- (13) その他

イ 第2回拡大役員会

日 時： 平成28年11月18日（金） 13時30分～15時40分

場 所： 郵政福祉虎ノ門第二ビル 1階スマート会議室

出席者： 19大学 24名

欠席者： 4大学

議事

< 報告事項 >

- (1) 平成28年度事業報告（総会以降）
- (2) HP委員会報告
- (3) 地区活動報告
- (4) 関係委員会等報告
- (5) その他

< 協議事項 >

- (1) 平成29年度総会等日程（案）について
- (2) 平成29年度以降の役員について
- (3) 平成29年度の関係委員会等派遣委員について
- (4) 公立大学図書館協議会 HP リニューアルについて
- (5) 会長館業務の見直しについて
- (6) その他

協議事項のうち、主な審議結果は次のとおり。

(ア) 公立大学協会図書館協議会規程類の修正について

会長館から会計手続細則の修正について説明があった。近畿地区協議会から来年度会長館業務を3館で行いたいと考えているので、本修正をお願いしたいとの意見があり、原案どおり承認された。

(イ) 公立大学協会図書館協議会 HP のあり方について

HP委員会委員長館の大阪市立大学から以下のとおり、提案内容の説明があった。現在運用しているホームページのLinuxOS(CentOS Ver.5)のサポートが今年度で終了することとなったため、サーバへの侵入による情報漏洩や不正アクセスが起こるなど危険にさらされることになる。そのためHP委員会からはホームページの再構築を現行業者に委託すること、会長からはその財源は今年度の予備費の支出によることの提案があり、原案のとおり承認された。

(ウ) 会長館業務の見直しについて

・公立大学協会との連携について

会長館から、公立大学協会事務局と会長館との話合いの内容について説明があり、意見も挙げられた。

会長館：過去数年に渡り会長館業務が軽減できないか協議をしてきており、これまで会長館業務の分担を分ける、総会の1日開催などができるよう見直しをしてきた。その中の検討事項の1つに公立大学協会との連携について検討することがあり、公立大学協会と話し合いをした。

会長館から次の2点について提案を行った。

- ①本協議会会報のバックナンバーを公立大学協会で保存する。
- ②会費徴収業務を公立大学協会に委託する

これらの提案について意見交換を行い、公立大学協会から①については電子化についても検討する必要があるが、例えば段ボールでお預かりすることは可能かもしれない。②についてはできるかもしれないが、事務委託した後の図書館協議会の今後のあり方を前向きに検討していただきたいとの意見が挙げられた。またこれは事務局長個人の見解であり、実施するにあたっては協会役員の了承などの手続が必要である。そういう課題があることをお互いに認識していくことで、さらに具体的につめていくことが必要であろうとの発言があった。

名桜大学：1年ごとに会長館名義で口座を作り、それを次期会長館の口座に払い込むことがずっと続いている。徴収するための口座が1つであることは会員館にとっても便利になるのではないかと。

協議の結果、今後も具体的な業務の連携について公立大学協会とさらに検討していくことが確認された。

(2) HP委員会（大阪市立大学）

<報告内容>

1 委員館

- (1) 委員長館（ホームページ管理）：大阪市立大学
- (2) 委員館：首都大学東京、横浜市立大学、名古屋市立大学、大阪府立大学

2 概要

- 2017/01/24 公立大学協会図書館協議会会則について
- 2017/01/13 会報第 44～47 号の追加について
- 2017/01/12 新潟県立看護大学図書館の規程について
- 2016/12/20 「大学図書館研究」掲載論文の電子的公開に関する周知について
- 2016/12/08 マイナンバーカードの大学図書館における活用について
- 2016/10/03 「国立大学図書館協会ビジョン 2020」パンフレットについて
- 2016/09/02 日本学術会議のオープンサイエンスに関する提言について
- 2016/08/30 概要の差し替えについて
- 2016/08/25 平成 28 年度概要について
- 2016/06/14 公立大学協会図書館協議会への新入会大学について
- 2016/04/01 平成 28 年度公立大学協会図書館協議会会長の就任について

3 統計

- 期間：2016/1/1-2016/12/31（前年 2015/1/1-2015/12/31）
- ユーザー数：3,208 人（3,649 人）
- セッション数：4,650 件（5,043 件）
- 閲覧ページ合計数：14,008 ページ（14,170 ページ）

4 その他

(1) セッション数（ブラウザ別）

Internet Explorer	2,034 件(43.74%)
Chrome	1,546 件(33.25%)
Firefox	676 件(14.54%)

(2) セッション数（OS 別）

Windows	3,500 件(75.27%)
Macintosh	737 件(15.85%)

(3) セッション数（モバイル別）

iOS	200 件(69.93%)
Android	66 件(23.08%)

(3) 国公立大学図書館協力委員会（横浜市立大学）

<報告内容>

1 構成

(1) 委員長館

平成27年度 慶應義塾大学（平成27年8月1日～平成28年7月31日）

平成28年度 筑波大学（平成28年8月1日～平成29年7月31日）

(2) 委員館（*は常任幹事館）

ア 国立大学 *東京大学、*筑波大学、京都大学、名古屋大学

イ 公立大学 *横浜市立大学、*大阪市立大学（～平成28年7月31日）、*大阪府立大学（平成28年8月1日～）、首都大学東京

ウ 私立大学 *慶應義塾大学、*早稲田大学、東洋大学、学習院大学、福岡大学、立命館大学

2 会議

(1) 協力委員会

ア 第80回国公立大学図書館協力委員会

日時：平成28年7月29日（金）15時～17時05分

場所：立命館大学衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館1階カンファレンスルーム

議事：

[報告事項]

会務報告など

[協議事項]

- ・次期委員長館の選出について

平成28年度委員長館は筑波大学に決定した。

[懇談事項]

- ・大学の認証評価について、大学設置基準を参照にする場合があるが、現在の設置基準は電子的資料の規定がないなど、見直しが行われておらず、基準を満たさない大学図書館が出てくる恐れがあるため、設置基準の規定見直しに関して大学図書館側も主体的に検討してほしい、と発言があった。

イ 第81回国公立大学図書館協力委員会

日時：平成28年11月24日（木）13時～14時10分

場所：筑波大学東京キャンパス 文京校舎3階337会議室

議事：

[報告事項]

会務報告など

[協議事項]

- ・ 平成 27 年度決算（案）および監査報告について
決算および監査報告を原案どおり承認した。
- ・ 平成 28 年度予算（案）について
同予算案を原案どおり承認した。
- ・ 監事館の選出について
委員館から首都大学東京、委員館以外から横浜国立大学が推薦され、承認された。
- ・ 学術文献普及会との出版契約解除にともなう手続きについて
「大学図書館協力ニュース」および「大学図書館研究」について、今後は「大学図書館協力ニュース」は国公立大学図書館協力委員会 Web サイトで、「大学図書館研究」は J-STAGE での公開を予定していることから、平成 29 年 3 月末の刊行分をもって、学術文献普及会との契約を終了することが承認された。
- ・ 「大学図書館研究」既載論文の網羅的電子公開について
「大学図書館研究」の第 1 号～第 72 号に掲載された論文について、本格的なオープンアクセスジャーナル化にあたり、趣旨を周知したうえで、明示的な辞退の意思表示のあったものを除き、過去の論文を網羅的に電子公開したいと提案があり、承認された。

(2) 常任幹事会

ア 平成 27 年度第 4 回常任幹事館担当者打ち合わせ

日時：平成 28 年 6 月 27 日（月）15 時～17 時 10 分

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 図書館新館 5 階大会議室

議事：

- ・ 第 80 回国公立大学図書館協力委員会の開催について
- ・ 専門委員会会計実査について
- ・ 「研修のあり方に関するワーキング・グループ」からの最終報告書について
- ・ 「Web サイト構築タスクフォース」の進捗について
- ・ 「国際 ILL 検討タスクフォース」の進捗について
- ・ リポジトリ推進協会について
- ・ SCOAP³ フェーズ 2 への対応について
- ・ 第 12 回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議について
- ・ 日本図書館協会大学図書館部会について
- ・ 第 18 回図書館総合展の後援について
- ・ JCOPY との資料複製に関する利用許諾契約更新に関する周知について

- ・ シャロン・H・ドマイヤー氏の表彰について

イ 平成27年度第2回常任幹事会

日時：平成28年7月29日（金）14時～14時15分

場所：立命館大学衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館1階会議室1

議事：

- ・ 第80回国公立大学図書館協力委員会の議事について

ウ 平成28年度第1回常任幹事館担当者打ち合わせ

日時：平成28年10月27日（木）15時25分～17時25分

場所：筑波大学東京キャンパス 文京校舎5階557ゼミ室

議事：

- ・ 第81回国公立大学図書館協力委員会の開催について
- ・ 平成27年度決算報告及び監査報告書(案)について
- ・ 平成28年度予算案について
- ・ 平成28年度監事館候補について
- ・ 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会について
- ・ 図書館総合展シンポジウムについて
- ・ 「国際ILL検討タスクフォース」報告
- ・ 「Webサイト構築タスクフォース」報告
- ・ 「Webサイト運用チーム（仮称）」の設置について
- ・ 大学図書館協力ニュースおよび大学図書館研究の冊子発行終了にともなう手続き等について
- ・ 「大学図書館研究」既載論文の網羅的電子公開について
- ・ 日本図書館協会大学図書館部会について
- ・ 大学設置基準に関する要請への対応について

エ 平成28年度第1回常任幹事会

日時：平成28年11月24日（木）11時～11時25分

場所：筑波大学東京キャンパス 文京校舎1階118講義室

議事：

- ・ 第81回国公立大学図書館協力委員会の議事について
- ・ 平成28年度国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会について
- ・ Webサイト運用チームの設置について

(3) 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

ア 第12回連携・協力推進会議

日時：平成28年7月19日（火）10時～11時40分

場所：国立情報学研究所 19階会議室

議事：

- ・ 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動について
- ・ 機関リポジトリ推進委員会の活動について
- ・ これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について
- ・ SCOAP³タスクフォースの活動について
- ・ 国立情報学研究所の最近の動向
- ・ 国公立大学図書館協力委員会の最近の動向

イ 第13回連携・協力推進会議（予定）

日時：平成29年2月21日（火）13時30分～15時30分

場所：国立情報学研究所 12階 会議室

議事：

- ・ 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動について
- ・ 機関リポジトリ推進委員会の活動状況について
- ・ オープンアクセスリポジトリ推進協会について
- ・ これからの学術情報システム構築検討委員会の活動状況について
- ・ SCOAP³タスクフォースの活動状況について
- ・ 平成28年度教育研修事業実施報告

(4) 国立国会図書館関係

ア 平成28年度国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

日時：平成28年11月24日（木）15時30分～17時45分

場所：国立国会図書館東京本館新館3階大会議室

議事：

- ・ テーマ報告「オープンサイエンス時代の図書館の役割」
 - 「国立国会図書館における取組」
国立国会図書館利用者サービス部長 石渡 裕子
 - 「オープンサイエンスと大学図書館」
筑波大学附属図書館長 西川 博昭
- ・ 意見交換

(4) 国公立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会（産業技術大学院大学）
 国公立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会ワーキンググループ
 （都留文科大学、横浜市立大学）

<報告内容>

■活動報告

1. 図書館総合展フォーラムへの協力

第18回図書館総合展において、同運営委員会主催のフォーラム「残された紙の残された問題を解決する ～館内コピー・ILL・デジタル変換～」の企画運営に協力した。参加者は208名。

日時 平成28年11月8日（火）13:00-14:30

場所 図書館総合展フォーラム第3会場（パシフィコ横浜）

コーディネーター：土屋俊氏（大学改革支援・学位授与機構教授）

講演1 「大学図書館著作権検討委員会のこれまでの活動と未解決の問題」

講師：森一郎氏（新潟大学学術情報部学術情報管理課長）

講演2 「残された紙の残された問題を解決する」

講師：常世田良氏（立命館大学文学部教授）

講演3 「～図書館における写真資料利活用の可能性を探る～ 図書館とオーファンワークス・その解決に向けて」

講師：瀬尾太一氏（日本複写権センター副理事長）

2. 大学図書館間協力における資料複製に関する権利者側団体との権利処理

a. 学術著作権協会との「大学図書館間協力における資料複製に関する合意書」の更新

平成28年3月5日付けで、一般社団法人学術著作権協会と国公立大学図書館協力委員会との合意書の更新を行った。

b. 出版者著作権管理機構（JCOPY）との「大学図書館間協力における資料複製に関する利用許諾契約」の終了

一般社団法人出版者著作権管理機構（JCOPY）より大学図書館著作権検討委員会に対して、平成28年6月30日をもって契約を終了する旨の通知があった。それを受け、6月27日付け文書にて、国公立各大学図書館協（議）会会員館・加盟館に向けて契約の終了を周知した。

3. 大学図書館における著作権問題Q&A

第8版（平成24年3月）の改訂作業に着手した。

4. 日本図書館協会（JLA）著作権委員会への派遣

日本図書館協会（JLA）著作権委員会に、WG から杉田茂樹委員（東京大学）を派遣している（任期は平成28年7月1日より平成29年3月31日まで）。

5. 文化審議会著作権分科会 法制・基本問題小委員会の傍聴

以下を傍聴し情報収集を行った。

- ・平成28年度 第1回（6月6日）、第2回（7月4日）、第3回（8月25日）、第4回（12月27日）
- ・同委員会 新たな時代のニーズに的確に対応した制度等の整備に関するワーキングチーム
平成28年度 第1回（6月27日）、第3回（10月18日）、第4回（12月20日）、第5回（1月23日）

6. 著作権にまつわる情報収集

平成28年9月29日に開催された「JRRC（公益財団法人日本複写権センター）による著作権等管理事業および個別受託制度に関する説明会」に参加し、情報収集を行った。

7. 講師の派遣

平成28年11月21日に開催された「岡山県大学図書館協議会平成28年度研修会（テーマ：大学図書館と著作権）」の講師に委員を派遣した。

8. 委員の交代

大学図書館著作権検討委員会および同ワーキンググループの委員に交代があった。任期は平成27年4月1日より平成29年3月31日のうち、前任者の残任期間とする。

大学図書館著作権検討委員会

岡部 幸祐 → 杉田 茂樹（東京大学）

今村 昭一 → 服部 光泰（早稲田大学）

大学図書館著作権検討委員会ワーキンググループ

岡部 幸祐 → 杉田 茂樹（東京大学）

近藤 努 → 根田 剛彦（筑波大学）

松尾 陽子 → 程原 祥子（都留文科大学）

■会議開催記録

大学図書館著作権検討委員会・ワーキンググループ合同会議

以下のとおり開催した。

平成28年度第1回：平成28年6月21日（火）（慶應義塾大学）

(5) 国公立大学図書館協力委員会「大学図書館協力ニュース」編集委員会

(神奈川県立保健福祉大学、滋賀県立大学)

<報告内容>

① 委員名

主査 岡本 和久 (東京工業大学)
 委員 高橋 菜奈子 (千葉大学)
 佐藤 初美 (筑波大学)
 吉田 樹 (東京工業大学)
 山作 美幸 (神奈川県立保健福祉大学)
 駒井 敦美 (滋賀県立大学)
 高橋 紀之 (東洋大学)
 藤本 智美 (学習院大学)
 井口 紀子 (福岡大学)
 中山 弘一 (学術文献普及会)

② 発行 国公立大学図書館協力委員会大学図書館協力ニュース編集委員会

③ 編集委員会 (イを除きネット会議による編集作業である。)

ア 平成28年 4月26日 (第37巻1号)
 イ 平成28年 7月 1日 (第37巻2号) 東京工業大学
 ウ 平成28年 9月 2日 (第37巻3号)
 エ 平成28年11月 2日 (第37巻4号)
 オ 平成28年12月20日 (第37巻5号)
 カ 平成29年 3月 3日 (第37巻6号)

37巻6号をもって『大学図書館協力ニュース』は終刊する。

各大学図書館協(議)会のニュースは、平成29年4月開設予定の国公立大学図書館協力委員会 Web サイト内で閲覧可能となる予定である。

編集委員会も業務終了予定である。

(6) 国公立大学図書館協力委員会「大学図書館研究」編集委員会

(愛知県立大学、千葉県立保健医療大学)

<報告内容>

ア 委員名

主査 鈴木 宏子 (一橋大学)
 事務局 石川 一樹 (東京大学)
 事務局 杉田 茂樹 (東京大学)
 事務局 小杉 しおり (一橋大学)

伊勢 幸恵 (千葉大学)
嶋田 晋 (筑波大学)
伊藤 健司 (千葉県立保健医療大学)
松森 隆一郎 (愛知県立大学)
天笠 洋一 (京都産業大学)
川崎 安子 (武庫川女子大学)
小泉 徹 (立教大学)
久保木 和義 (明治大学)
湯川 亜矢 (早稲田大学)
森嶋 桃子 (慶應義塾大学)

イ 活動状況

・第1回委員会

日時：平成28年7月5日(火) 14:30～17:00

会場：一橋大学附属図書館

内容：・平成27年度刊行状況について
・J-Stageへの移行(オープンアクセス化)について

・第2回委員会

日時：平成28年12月9日(金) 14:30～17:15

会場：武庫川女子大学附属図書館

内容：・104号(小特集：デジタルアーカイブ)の発行について 2016.11発行
・「大学図書館研究」冊子体発行の終了について(106号にて冊子体発行終了、以後オープンアクセス誌としてJ-Stageから公開予定)

・第3回委員会

日時：平成29年2月3日(金) 14:30～17:00

会場：千葉大学附属図書館

内容：・105号(小特集：情報リテラシー)の発行について 2017.3発行予定
・オープンアクセス化に伴う諸課題について

(7) 国公立大学図書館協力委員会シンポジウム企画・運営委員会(首都大学東京)

<報告内容>

1 平成28年度委員会構成

主査 本間知佐子 早稲田大学図書館総務課長

委員	木下 聡	東京大学附属図書館総務課長
	大山 努	千葉大学附属図書館利用支援企画課長
	古野奈央子	首都大学東京学術情報基盤センター事務室 図書・学術情報係
	市古みどり	慶應義塾大学日吉メディアセンター事務長

2 活動状況

第1回シンポジウム企画・運用委員会

日時：平成28年5月16日（月）15:00～16:40

場所：早稲田大学図書館会議室

- ・シンポジウムについては、平成28年度も継続して日本図書館協会大学図書館部会との共催とする。
- ・予算・決算、日程・会場の確保について了承された。
- ・その後は電子メールによる連絡・協議を行なうこととした。

3 シンポジウム実施内容

平成28年度大学図書館シンポジウム（日本図書館協会大学図書館部会との共催）

日時：平成28年11月10日（木）13:00～17:00（12:30 受付開始）

会場：第18回 図書館総合展第3会場 パシフィコ横浜アネックスホール 203

定員：200名（先着）

参加者数：225名

参加費：無料

テーマ：10年後の大学図書館を考える

～オープンアクセス時代の大学図書館の新たな役割

概要：日本の大学図書館では、2000年代以降、機関リポジトリを中心とする学術情報のオープンアクセスが推進されてきた。ここ数年ではこれに加えてオープンサイエンスに関する大学図書館の役割が議論されてきている。これらの議論は途上にあり、今後さらなる変化が予想される。今回のシンポジウムでは、オープンアクセスの推進に関わってきた図書館関係者と、10年後の大学図書館を担う図書館員とのディスカッションを通し、今後の大学図書館および大学図書館員の役割と方向性を議論する。

・第一部：講演（13:00～14:30）

講師：尾城孝一（東京大学附属図書館 事務部長）

林和弘（科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター 上席研究官）

・第二部：パネルディスカッション（15:00～17:00）

ファシリテーター：佐藤翔（同志社大学 免許資格課程センター 助教）

パネリスト：

尾城孝一（東京大学附属図書館 事務部長）

林和弘（科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター 上席研究官）

中村美里（国文学研究資料館 古典籍共同研究事業センター事務室 古典籍データベース係長）

田中千尋（横浜市立大学 学務・教務部 学術情報課 学術情報担当）

酒見佳世（慶應義塾大学 日吉メディアセンター主任）

(8) 国公立大学図書館協力委員会 GIF プロジェクト（首都大学東京）

<報告内容>

1 構成（任期：H28. 4. 1～H30. 3. 31）

主査	井上 修	大阪大学附属図書館事務部長
委員	相原雪乃	北海道大学附属図書館管理課長
	小嶋静恵	首都大学東京学術情報基盤センター事務室図書・学術情報係
	小澤ゆかり	慶應義塾大学三田メディアセンター相互協力担当主務

2 活動状況

第 80 回国公立大学図書館協力委員会（平成 28 年 7 月 29 日）において、「日米 ILL/DD および日韓 ILL/DD プロジェクト」について平成 27 年度活動報告（平成 28 年 3 月末現在の参加状況と実施状況）を行った。

- ・ 日米 ILL/DD プロジェクト
 - 文献複写サービス参加機関 日本側 168、米国等側 116
 - 現物貸借サービス参加機関 日本側 94、米国等側 89
 - 日本側依頼件数 1,238 件（前年比 492 件減）
 - 日本側受付件数 1,690 件（前年比 56 件減）
- ・ 日韓 ILL/DD プロジェクト
 - 参加機関 日本側 119、韓国側 324
 - 日本側依頼件数 51 件（前年比 10 件減）
 - 日本側受付件数 4,480 件（前年比 93 件減）

(9) 国公立大学図書館協力委員会国際 ILL 検討タスクフォース（首都大学東京）

<報告内容>

- 1 第 80 回国公立大学図書館協力委員会（平成 28 年 7 月 29 日）において、活動報告（中間報告）を行った。

<中間報告の概要（検討のポイント）>

- (1) 中長期的な視点での日米 ILL の今後のあり方
- ・ 国立国会図書館との協同、電子的な ILL の実現などを軸により効率的な ILL の体制作りを目指していくべき。
 - ・ 根本的な課題は「グローバルな文献アクセスの改善」。デジタル化、オープンアクセス化、著作権制限などに取り組むことで解決を図っていくべき。
- (2) GIF の後継としてのエージェント方式による日米 ILL
- ・ ISO プロトコルのアップデート期限は 2017 年 7 月の見込み。
 - ・ 2017 年 4 月を目途に GIF の後継としてエージェント方式による運行に移行する。ただし、上記 1 で言及したような取組みによって ILL の役割自体が収束する方向を見据えて、エージェント方式は過渡的な措置として捉えるのが望ましい。
 - ・ 複数の大学図書館での分担処理によるエージェント方式の実現に向けた具体案を策定中。
- 2 第 4 回打合せ（平成 28 年 2 月 16 日開催、於：国立情報学研究所）
- ・ NCC 打合せ及び NCC との懇談会報告
 - ・ 国際 ILL フレームワークの再検討に向けた提言（最終案）について
 - ・ エージェント方式についての検討状況
- 3 第 5 回打合せ（平成 28 年 5 月 17 日開催、於：国立情報学研究所）
- ・ エージェント方式の運用開始に向けて
- 4 第 6 回打合せ（平成 28 年 7 月 4 日開催、於：国立情報学研究所）
- ・ コミュニティベースによるエージェント方式の具体案について
 - ・ NCC との懇談会（8/23）について
 - ・ エージェント方式での日米間 ILL に対する北米側の意見について
 - ・ 国公立大学図書館協力委員会事務打合せについて
- 5 NCC（北米日本研究資料調整協議会）との懇談会
（平成 28 年 8 月 23 日開催、於：国立情報学研究所）
- ・ エージェント方式（コミュニティベース）による日米間国際 ILL の実施について
- 6 第 7 回打合せ（平成 29 年 3 月 6 日開催予定）
- (10) 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）（大阪府立大学、横浜市立大学）
＜報告内容＞

○会員館（大学，大学共同利用機関，省庁大学校等の図書館）533 館
 国立 99 館 公立 70 館 私立 361 館 その他 3 館（平成 29 年 1 月 27 日現在）

○ 運営体制

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

JUSTICE 運営委員会 委員 15 名（会員館から選出）

交渉作業部会、調査作業部会、広報作業部会 委員 30 名（会員館から選出）

JUSTICE 事務局 専任職員 3 名（会員館からの出向）

○会議開催状況

①総会（現時点では開催予定です）

日時：平成 29 年 3 月日

場所：一橋大学一橋講堂

②運営委員会

・準備会議 平成 28 年 3 月 18 日

・第 1 回 平成 28 年 6 月 1 日

・第 2 回 平成 28 年 8 月 4 日

・第 3 回 平成 28 年 12 月 6 日

・第 4 回 平成 29 年 1 月 27 日

○活動内容

①出版社交渉の実施

交渉対象版元数 68 社

提案合意 58 社

合意提案書数 114 提案 213 製品 交渉回数 71 回

②契約状況調査（2016 年度）

実施期間 平成 28 年 5 月 9 日～6 月 10 日 調査対象 527 館 回答数 525 件

③版元提案説明会の開催

開催日 平成 28 年 9 月 7 日～9 月 8 日

開催場所 一橋大学一橋講堂

参加機関・参加者数 196 館 310 名 参加版元 34 社

④国内研究者による論文公表に関する実態調査の実施

⑤研修会の開催

○JUSTICE 電子資料契約実務研修会中部地区（松本会場）

開催日 平成 28 年 7 月 8 日

開催場所 信州大学附属図書館中央図書館

内 容 第一部 「電子資料の有効活用のために」

第二部 電子資料契約実務事例紹介及び意見交換

参加者 30名

○JUSTICE 電子資料契約実務研修会 北海道地区（札幌会場）

開催日 平成28年7月14日

開催場所 北海道大学附属図書館

内容 第一部 「電子資料の有効活用のために」

第二部 電子資料契約実務事例紹介及び意見交換

参加者 24名

○版元提案説明会開催前の勉強会

開催日 平成28年9月7日

開催場所 一橋大学一橋講堂

参加者 194名

⑥会員向け広報誌『jusmine』の発行

No. 24～No. 27号

詳細は『2016年度 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）活動報告（2016年9月30日現在）』（<http://www.nii.ac.jp/content/justice/rules/>）を参照のこと。

(11) これからの学術情報システム構築検討委員会（青森県立保健大学）

<報告内容>

ア 委員

委員長	佐藤 義則	（東北学院大学）
委員	熊渕 智行	（東京大学）
	甲斐 重武	（京都大学）
	渡邊 俊彦	（鹿児島大学）
	山田 奈々	（青森県立保健大学）
	原 修	（立教大学）
	近藤 茂生	（立命館大学）
	呑海 沙織	（筑波大学）
	小山 憲司	（中央大学）
	大向 一輝	（国立情報学研究所）
	細川 聖二	（国立情報学研究所）
	吉田 幸苗	（国立情報学研究所）

イ 会議開催状況

- 第14回委員会 平成28年6月29日(水)
 第15回委員会 平成28年10月20日(木)
 第16回委員会 平成29年1月30日(月)

ウ 活動内容

本委員会の活動目的である「電子情報資源を含む総合目録データベースの強化」のうち、電子情報資源の強化のために、電子リソースデータ共有作業部会では、国内電子リソースのナレッジベース(ERDB-JP)のパートナー対象範囲を拡大した。また、電子リソース管理業務のワークフロー改善に関して検証を実施するとともに、各種ツールの先行利用機関に対する調査を実施した。

また、総合目録データベースの強化のために、NACSIS-CAT 検討作業部会では、「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について(基本方針)」(平成28年8月31日公開)に沿って具体的な対応策の検討を進め、「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について(詳細案)」としてまとめた。

検討状況については、学術情報基盤オープンフォーラム2016(平成28年5月26日)、第102回全国図書館大会(平成28年10月16日)、第18回図書館総合展フォーラム(平成28年11月9日)において報告を行った。また、「目録システム書誌作成研修」、「大学図書館短期研修」、「国立大学図書館協会地区協会助成事業九州地区講演会」にそれぞれ講師1名を派遣した。

(12) 機関リポジトリ推進委員会(神戸市立外国語大学)

<報告内容>

ア 委員(◎委員長)

- 行木 孝夫(北海道大学大学院理学研究院 数学部門・准教授)
 ◎富田 健市(北海道大学附属図書館・事務部長)
 江川 和子(筑波大学・学術情報部長)
 尾城 孝一(東京大学附属図書館・事務部長)
 高橋菜奈子(千葉大学附属図書館・コンテンツ課長)
 森 一郎(新潟大学学術情報部・学術情報管理課長)
 島 文子(京都大学附属図書館・図書館企画課長)
 池田 大輔(九州大学大学院システム情報科学研究所・准教授)
 山本 和雄(琉球大学附属図書館・事務部長)
 大野 利彦(神戸市立外国語大学 学術情報センター・グループ長)
 菊池 亮一(明治大学学術・社会連携部・部長)

- 佐藤 翔 (同志社大学免許資格課程センター・助教)
 安本 裕和 (関西学院大学図書館・事務部長)
 山路 一禎 (国立情報学研究所学術ネットワーク研究開発センター・准教授)
 細川 聖二 (国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課・課長)
 吉田 幸苗 (国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課・副課長)

イ 活動内容

平成25年度に策定した機関リポジトリ推進委員会の活動方針「大学の知の発信システムの構築に向けて」での課題を踏まえ、①オープンサイエンスへの対応②オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)の設立を重点課題として取り組んだ。

ウ 会議開催状況

- 第11回委員会 平成28年5月13日(金)
 ・平成28年度の活動方針及びオープンアクセスリポジトリ推進協会について
 第12回委員会 平成28年10月21日(金)
 ・平成28年度のワーキンググループ活動中間報告及び図書館総合展でのフォーラムの内容について
 第13回委員会 平成29年2月3日(金)
 ・平成28年度の委員会活動の総括及び平成29年度のオープンアクセスリポジトリ運営委員会の活動計画について

(13) 日本図書館協会代議員総会(施設会員)(名古屋市立大学)

<報告内容>

ア 2016年度第1回 日本図書館協会代議員総会

日時:平成28年6月17日(木) 13:30 ~ 16:30

会場:日本図書館協会研修室

議事:議案

- (1) 補欠理事の選出について
- (2) 2015年度事業報告(案)について
- (3) 2015年度決算(案)について

報告

- (1) 顧問の就任について
- (2) 2016年度補正予算について
- (3) 図書選定事業委員会の廃止及び図書紹介事業の試行について
- (4) 次期代議員選挙の実施時期について

- (5) 熊本地震による図書館等の被害状況について
- (6) 第102回全国図書館大会について

イ 2016年度第2回 日本図書館協会代議員総会

日 時：平成29年3月22日（水）予定

会 場：日本図書館協会研修室

議 事：未定

(14) 日本図書館協会大学図書館部会（首都大学東京、横浜市立大学）

<報告内容>

1 構成（H28.4.1現在）

部会長	赤木完爾	慶應義塾大学メディアセンター所長
施設会員委員	木下 聡	東京大学附属図書館総務課長
	岡部幸祐	筑波大学学術情報部情報企画課長
	宮部 一	横浜市立大学学術情報センター学術情報課長
	北村茂樹	首都大学東京学術情報基盤センター事務長
	荘司雅之	早稲田大学図書館事務副部長兼総務課長
	関 秀行	慶應義塾大学メディアセンター本部課長
個人会員委員	逸村 裕	筑波大学大学院図書館情報メディア系教授
	上村順一	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課係長
	小山憲司	中央大学文学部教授

2 活動状況

(1) 日本図書館協会大学図書館部会 2016年度第1回部会委員会

日時：平成28年6月6日（月）15：30～17：00

場所：慶應義塾大学三田キャンパス 図書館新館5階大会議室

- ・大学図書館部会総会の開催に向けて
- ・大学図書館部会 議事次第（案）
- ・2015年度大学図書館部会事業報告（案）
- ・2016年度大学図書館部会事業計画（案）
- ・全国図書館大会への参加について
- ・日本図書館協会の近況について

(2) 日本図書館協会大学図書館部会 2016年度部会総会

日時：平成28年6月17日（金）10：00～11：00

場所：日本図書館協会 501 会議室

出席者 10 名、委任状 463 名 計 473 名

- ・ 2015 年度大学図書館部会事業報告（案）について
- ・ 2016 年度大学図書館部会事業計画（案）について
- ・ その他（日本図書館協会の近況について）

(15) Web サイト構築タスクフォース（首都大学東京）

<報告内容>

1 メンバー

主査 荘司雅之 早稲田大学図書館事務部長（私立大学図書館協会）

※11月1日付で前任の関秀行主査 慶應義塾大学メディアセンター本部課長から交代。

委員 岡部幸祐 筑波大学学術情報部情報企画課長（国立大学図書館協会・国公立大学図書館協力委員会）

別府裕美子 首都大学東京学術情報基盤センター図書・学術情報係（公立大学協会図書館協議会）

松本和子 慶應義塾大学メディアセンター本部課長（私立大学図書館協会）

杉田茂樹 東京大学附属図書館情報サービス課長（大学図書館研究編集委員会）

吉田 樹 東京工業大学研究推進部情報図書館課総務グループ長（大学図書館協力ニュース編集委員会）

※松本和子委員は、11月1日付で前任の関秀行主査から交代。

2 活動状況

(1) 第1回 Web サイト構築タスクフォース打合せ

日時 平成28年10月13日（木） 15:00～16:45

場所 慶應義塾大学三田キャンパス図書館新館6階会議室

議事

- ・ 学術文献普及会との打合せについて
- ・ 大学図書館研究について
- ・ 著作権検討委員会の会員館限定のコンテンツについて
- ・ ニュースの掲載方法について
- ・ サイトのデザインの細部について
- ・ 広報委員会（仮称）の設置について
- ・ 全体スケジュールについて

(2) 第81回国公立大学図書館協力委員会（平成28年11月24日）における活動報告

日時 平成28年11月24日(木) 13:00~14:10

場所 筑波大学東京キャンパス文京校舎3階337会議室

報告概要

- Webサイト構築はスケジュールどおり進んでおり、「大学図書館研究」のサーバ移行も予定どおりこの夏に完了した。
- Webサイト維持のため、平成29年4月のWebサイト公開に合わせて、Webサイト運用チームを設置する。役割はWebサイトの改良及び改修に係る企画立案及び調整であり、保守管理は業者に委託する。